

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにします。

A: 目立つカラー：身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向

B: 着装カラー：着ている服の色動向

C: アイテムカラー：各アイテム毎の色動向中心に、街頭写真のポイントなどを報告します。

A: 目立つカラー (服以外含む)

目立つカラーはv赤,p青とピンク、灰がリード

目立つカラーのトーンマップを見ると、

- ・v(高彩度)とニュートラル方向がリード
- ・少ないが、明るさも注目される

各トーンで目立つ色相を見ると、(データ表示省略)

v(鮮やかな)は、赤がリード、ピンク、緑が増加で続く

注目したいのは、ニュートラルはm灰がリード、p灰以外も増加

目立つカラーでの登場は、ニュートラルのみの着こなしが多いことの現れと言える

p(淡い)は青、ピンクが増加でリード

f(かすかな)はオレンジが増加でリード

補足:

後述の着装カラーを見ると、ニュートラル系、特に黒と白が大きく減少

黒、白と有彩色の組み合わせは減少がだ、黒、灰、白の組み合わせは増加で注目となっている

概要

日時 2018 年 1 月 19 日 13 度

2017 年 1 月 26 日 10 度

場所 神戸元町 (神戸大丸近く)

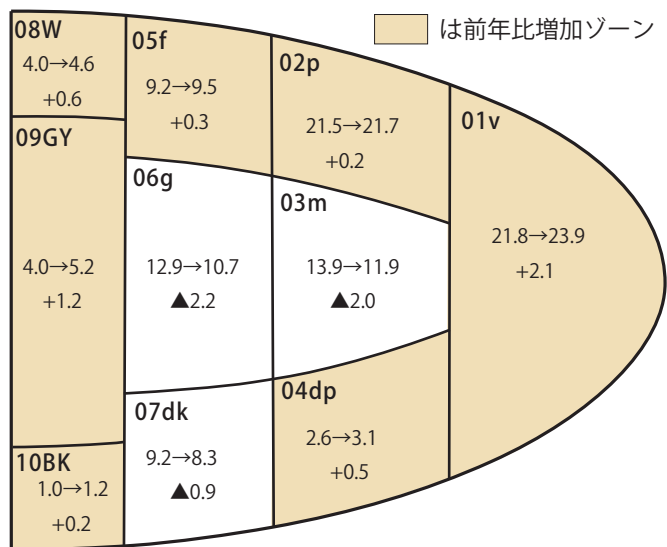
対象 20-50 代女性



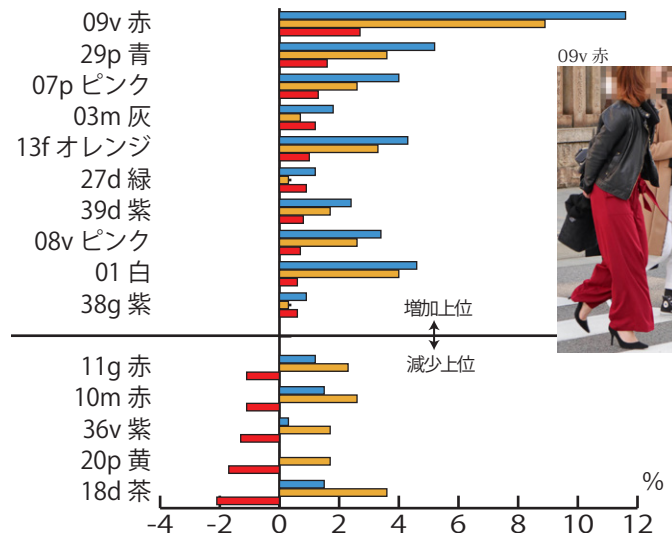
次ページ「トーン全体のアイテム推移」は目立つカラーに登場した彩度の高い色のアイテムを、前年比増減でグラフ化したものです。

増加上位は、スカート、コート、ドレスなど。

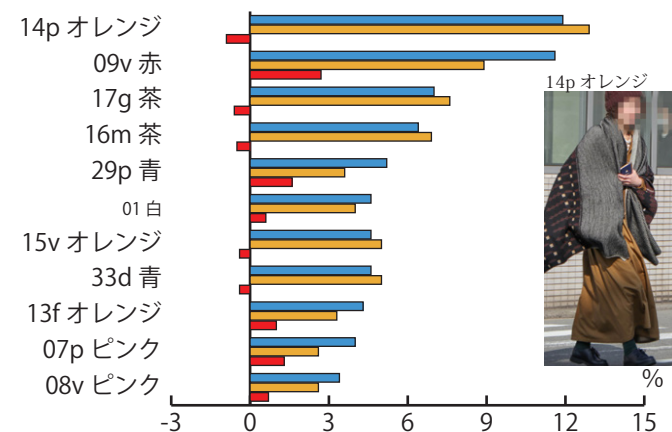
目立つカラーのトーンマップ



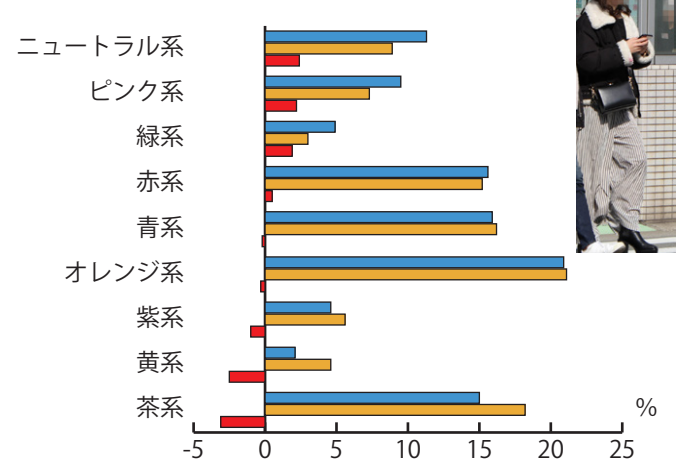
目立つカラー増減 (上位)



目立つカラー量的に多い順 (上位)



色相集約した目立つカラー増減 (増加順)



B：着装カラー

街頭で見た印象に近い着装カラー（服のみ）

着装カラーはd 灰、m 灰、青とオレンジがリード

- 着装カラーのトーンマップを見ると、
- ・目立つカラーと違って、中明度から高彩度まで増加（色返りが目立っている）
 - ・黒周辺、白周辺が減少（量的には多く無視できない）

各トーンで目立つ色相を見ると、（データ表示省略）

p は青、オレンジがリード、黄以外は増加

m は、茶、青がリード

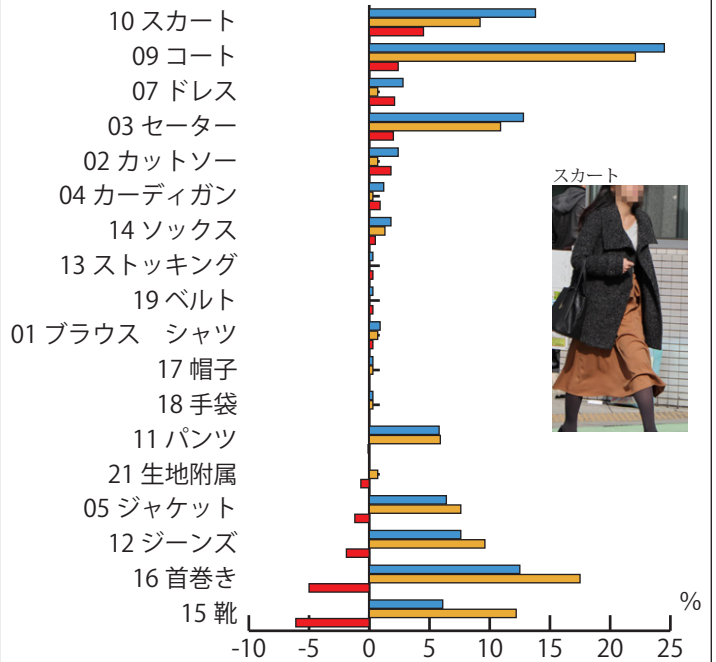
g は茶がリード、青以外は増加

補足：
使いやすいベーシックカラーが減少している
その分、色返りとなっている

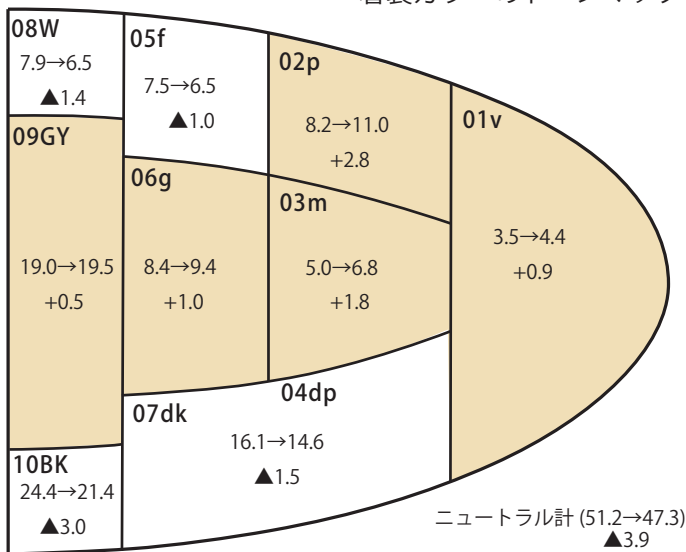


目立つカラー続き（服以外含む）

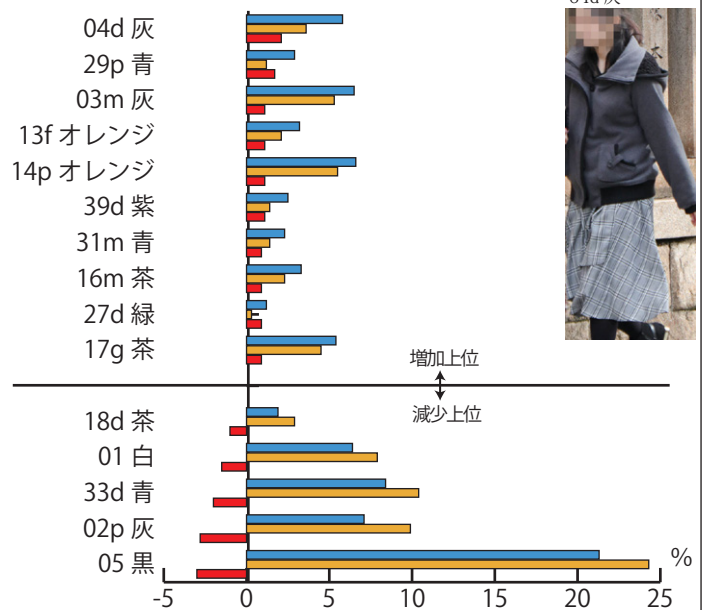
トーン全体のアイテム推移



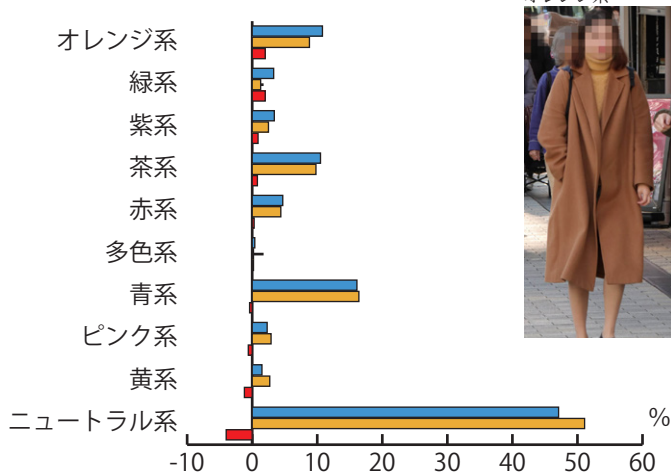
着装カラーのトーンマップ



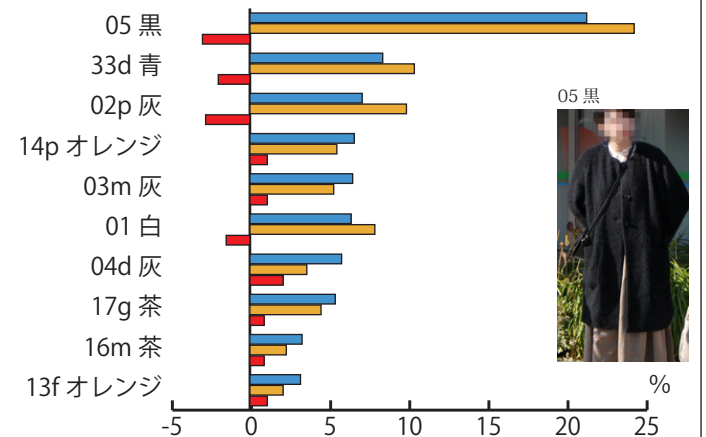
着装カラー増減（上位）



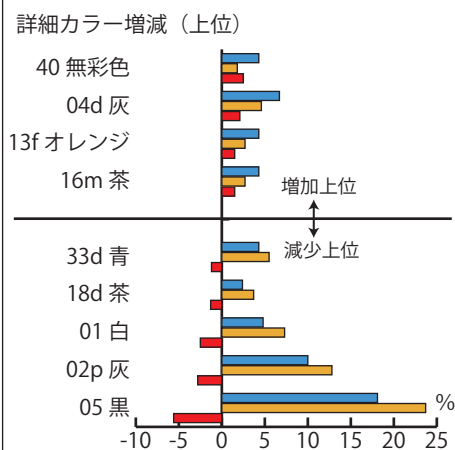
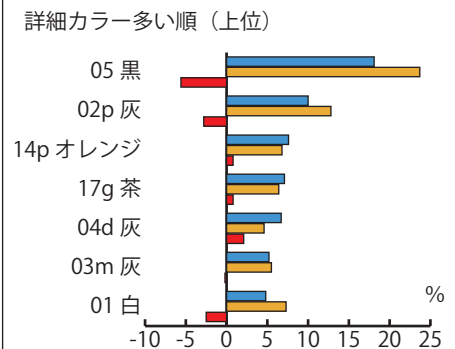
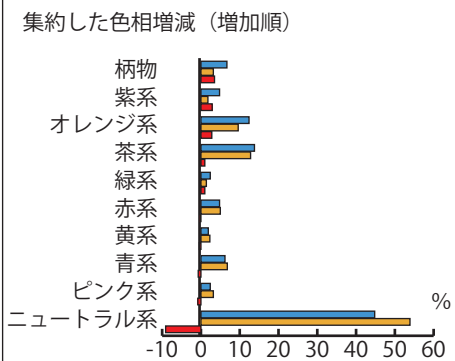
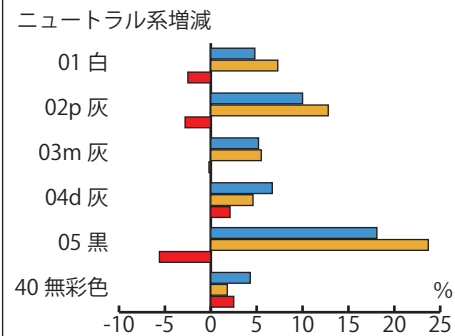
色相集約した着装カラー増減（増加順）



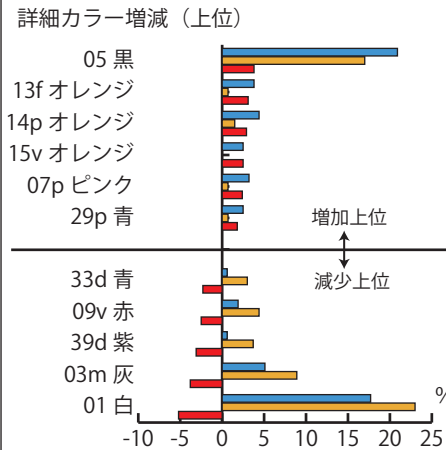
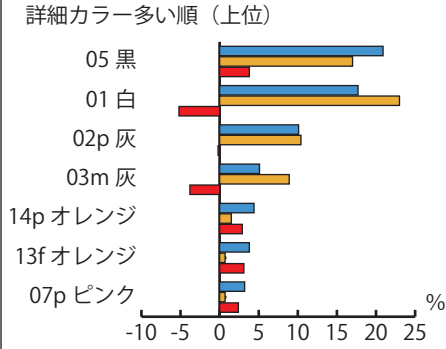
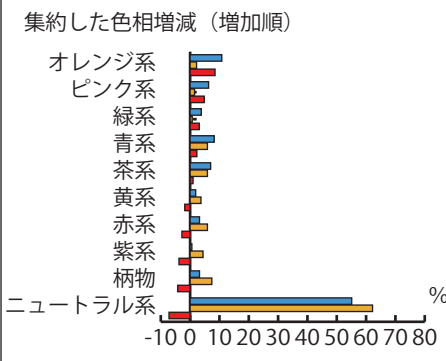
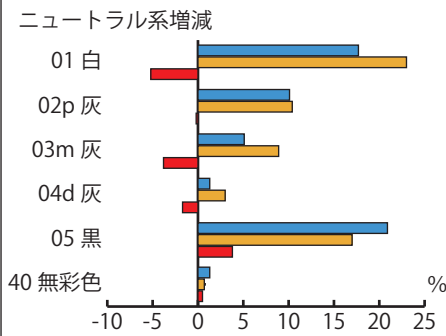
着装カラー量的に多い順（上位）



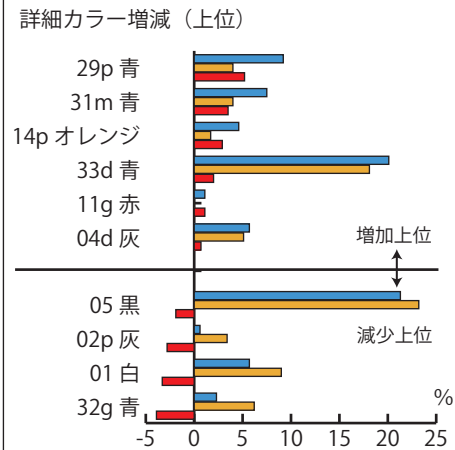
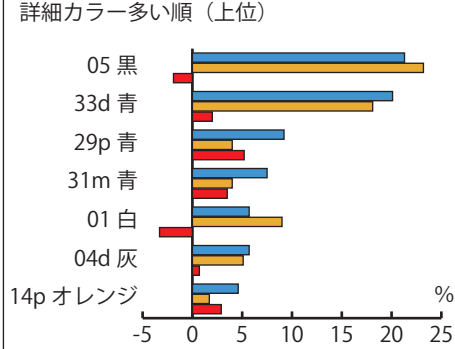
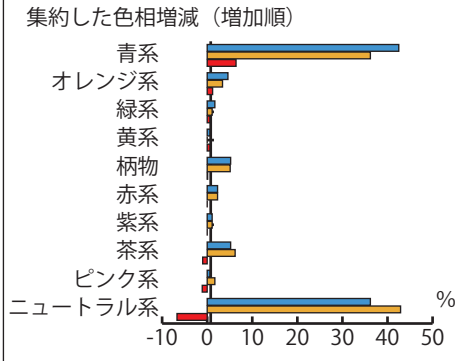
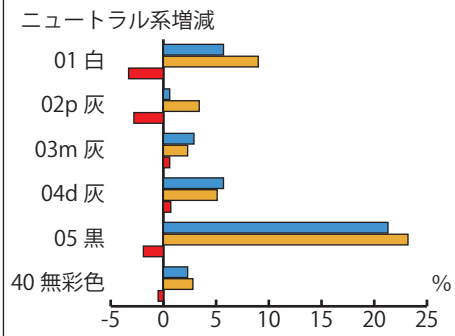
コート



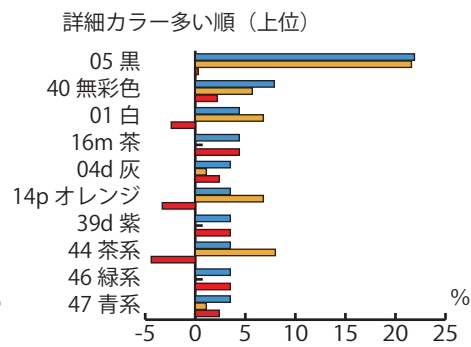
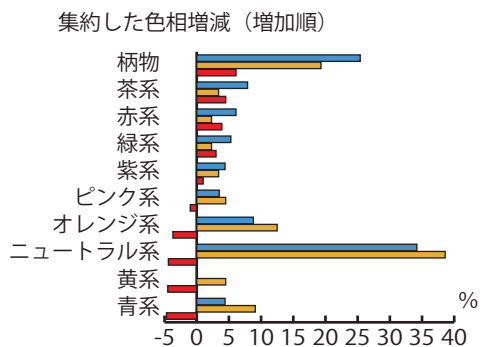
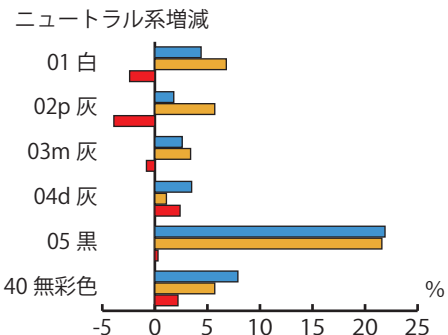
セーター



パンツ



スカート



街頭写真のポイント:着こなしいろいろ

アイテム変化

増加アイテムはカットソー+2.9、スカート+2.4、カーディガン+1.3など
減少アイテムはパンツ▲5.3、コート▲3.1など

広い肩巾

ボリューム、タテ強調



ボックスライン

ストレート感、バギーパンツ



ハリのあるジャケット



メンズ調柄

無地調、ヘリンボーン、チェック、ツイード



有毛タイプ

ファー、ボア、ムートン、シャギー〜起毛、リバーシブル



コート素材では、ウールタイプ増加
反対に、ダウン、レザー減少

ジャケット素材では、ウールタイプ減少
反対に、有毛素材、レザー、プレーンタイプ増加

ニット

ローゲージ、模様柄



素材対比、ミックス

厚・薄差、光沢差、表・裏使い

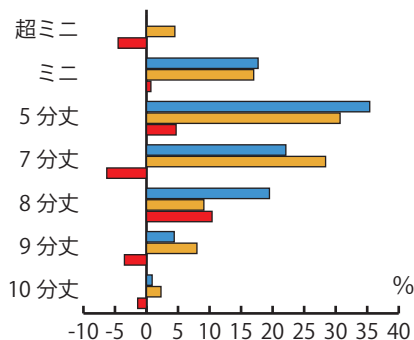


ジャンパー風

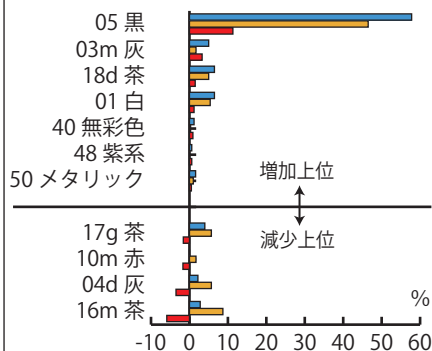
素材、丈変化



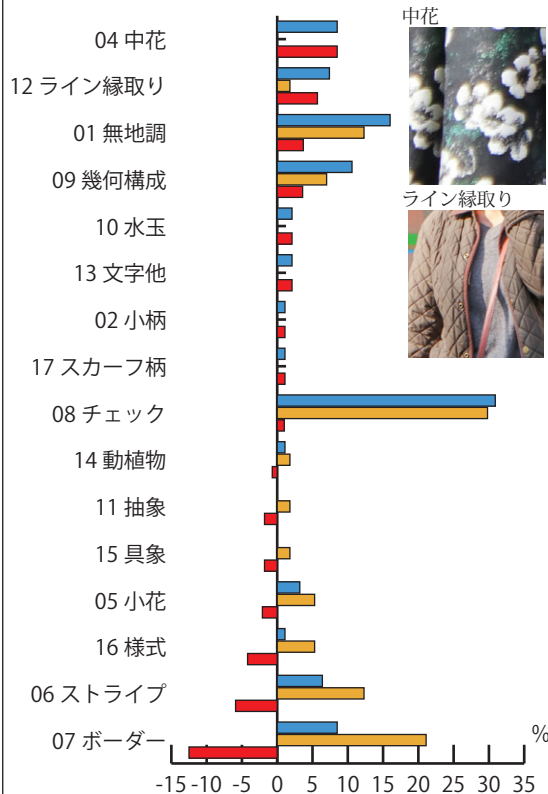
スカート丈増減



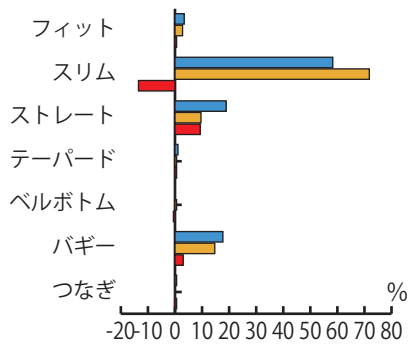
靴カラー増減 (上位)



柄タイプ増減



パンツ巾増減



靴タイプ増減

